

ハウテン州とリンポポ州に所在する2つの被供与団体との間で草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の契約書署名式を実施

令和6年3月15日在南アフリカ日本大使館において、牛尾滋駐南アフリカ日本大使は、草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の実施の一環として、ハウテン州とリンポポ州に所在する2つの被供与団体の代表者と無償資金協力契約を締結した。署名式参加団体およびプロジェクト名は以下のとおり。

・団体名:ピンク・ドライブ

プロジェクト名:ハウテン州移動がん検査のための医療機材整備計画*(118,912 米ドル)

※富士フィルム社製の3D マンモグラフィ機材を整備予定。

・団体名:マクハン小学校

プロジェクト名:リンポポ州マクハン小学校教室棟建設計画(52,518 米ドル)

日本政府から大使館を通じて提供される金額は、総額 171,430 米ドルとなる。

GGP は 1989 年に始まった日本の助成制度。草の根レベルで人々の幸福に直接影響を与える非営利団体を支援するプロジェクト。人間の基本的ニーズの改善を目指す分野や、人間の安全保障の観点から特に重要な分野において優先的に支援を実施している。創設以来、南アフリカでは 600 以上のプロジェクトが実施されてきた。

日本大使館は、この協力がハウテン州とリンポポ州の人々の社会的・経済的福祉の実現につながることを期待している。

